

平成30年度 事業計画書

自) 平成30年 4月 1日

至) 平成31年 3月31日

1. 事業方針

【受託事業について】

システム科学研究所が国・自治体・高速道路会社等から受託する方式が、民間と同列に技術提案内容や価格を評価され競争するようになってから、既に十年以上が経過した。大手民間との競争は技術レベル以外での評価で苦戦しているが、当研究所の受託事業は円滑な公益事業を進めるためにも非常に重要な事業である。これを活性化するためには技術・価格の両面において優れた企画提案を行い、競争に打ち勝つことが極めて重要である。

受託事業の活性化のためには、これまでに蓄積された知識・技術・人的ネットワークを有効に活用し、①企画力・提案力の強化、②業務遂行の効率性向上、③業務成果の品質向上に向けた取り組みを進め、当社団の“基礎体力”のさらなる向上に取り組まなければならない。

また、受託事業の範囲を拡大するには、他の企業等との連携（設計共同体の形成など）に積極的に取り組むことも重要であるとともに、当社団の特徴である大学等の研究機関との強いネットワークを生かして新しい事業テーマの企画・提案を行い拡大を図ることも肝要である。

以上の課題認識及び取り組みにより、企画力の向上・業務遂行力の向上・成果品の品質向上・業務受注体制の強化を図り、当該年度の受託事業を進めていくものとする。

【公益事業について】

交通政策や地域政策の専門家集団としての存在価値を高め、かつ、定着させる取り組みが不可欠である。そのためには、上述の受託事業の活性化に関する取り組みに加え、公益事業に対する取り組みも非常に重要である。その具体的な実施方針は以下の通りである。

第一に、調査研究・技術開発事業として、テーマの設定から成果のまとめまでを主体的に行う「自主研究活動」を積極的に奨励し、シンクタンクとしての価値向上を図る。

第二に、調査研究助成事業として、わが国の交通工学・交通計画において特に優れた研究活動や実務等を米谷・佐佐木基金を活用して表彰する「米谷・佐佐木賞」授与を今年度も継続し、科学技術の発展に対して貢献していく。

第三に、先進的で公益性の高い調査・研究及び開発活動等に取り組んでいる大学や学会等の研究機関等に対して米谷・佐佐木基金を活用した賛助を行い、公益に値する調査・研究等の活動の推進に対して寄与する。

第四に、調査研究情報発信事業として、例年10月に設けられる「情報化月間」に呼応し、時宜に応じたテーマのシンポジウム等の企画・開催を行い、政策・研究・技術等の最新動向を広く社会に発信する。

2. 事業計画

上述した「事業方針」を踏まえ、今年度の事業計画を以下に設定する。

(1) 調査・研究・開発の受託事業

以下の取り組みを着実に遂行し、今年度の事業収入の確保、さらには次年度以降の事業の活性化を目指す。

- 調査研究実績や「調査研究・技術開発事業」に基づく企画力・提案力の強化、設計共同体（JV）を活用した受託体制の強化、品質向上に係る取り組みの強化（社内照査の励行等）、等々を推し進め、競争発注方式の業務をはじめ様々な業務の受注に取り組む。
- 受託事業の新たな発注先として、従前受託の無かった国、自治体、高速道路会社、民間等に対し積極的に提案等を行い受託先の拡大、開拓に取り組む。
- 受託内容に応じて大学等の研究機関と連携して成果レベルの高度化を図るとともに、企画レベルで大学と合同で先進性のある事業の提案を行い受託に繋げる。
- 「調査研究・技術開発事業」や「調査研究情報発信事業」の成果等を有効活用し、公益性と先進性を具備し、かつ時宜を得た調査研究テーマの企画・提案に努め、新たな顧客やパートナーの開拓を図る。

(2) 調査研究・技術開発事業

職員の技術向上をはじめとする当社団のレベルアップを図り、シンクタンクとしての価値向上を図るため、以下の活動等に取り組む。

- 職員自身が調査研究全般に取り組む「自主研究」の実施を積極的に奨励する。なお、研究内容のレビューのための学識経験者も交えた中間発表会の開催を実施するとともに、これらの研究成果の外部発信（口頭発表や論文投稿）を積極的に実施する。
- 外部の研究機関との連携（大学等との共同研究など）による職員の技術力・企画力・発信力の向上を図る。
- 公益財団法人総合研究開発機構及び一般財団法人関西情報センターの指導の下、各地域のシンクタンクが研究の質の向上のために相互交流する場である「地方シンクタンク協議会」に参画する。

(3) 調査研究助成事業

- わが国の交通工学・交通計画に係る研究・実務の発展に貢献するため、米谷・佐佐木基金を活用した「米谷・佐佐木賞」の授与を今年度も継続する。

《米谷・佐佐木賞の概要》

目的 わが国の交通工学・交通計画の発展に特に貢献した研究者または技術者等を表彰する。

部門 下記の四部門について表彰を行う予定である。

創研部門 交通工学・交通計画の分野で斬新なテーマの研究を進めている研究者または技術者等を表彰する。

学位論文部門 平成 27 年 9 月～平成 30 年 8 月の間に学位（博士）が与えられた学位論文のうち特に優れたものを表彰する。

功績部門 交通工学・交通計画の分野で顕著な社会貢献が認められる

